

平成24年大磯町議会

9月定例会総括質疑（9月11日）

質問議員	質問事項
<p>1 1 番 奥津 勝子議員 (40 分) 9:05~9:45</p>	<p>1. 町税の不納欠損について 町の自主財源の中、平成 23 年度の町税は約 50%の構成率を占めている。町税の収入未済額が減少したものの不納欠損が増加し、平成 20 年度以後、最も高い数値となっている。要因が固定資産税の不納欠損の増で、前年度と比較して 996 万 8,640 円(234.0%)増加しているとの監査からの指摘があるが、税の公平性を保つ意味からも、不納欠損を出すことは町民から理解されない。 平成 23 年度の徴収業務の実態と対応を伺う。</p> <p>2. 不用額について 決算成果説明書によると、平成 23 年度は不用額が多い。事業によっては、職員の努力で予算を余らせたとの解釈もできる。また、当初予算編成の見通しがつかない事業もあると思う。 何故、額が多かったか、理由を問う。</p> <p>3. 町長が進められた事業の中から伺う 平成 23 年度は「開かれた町政運営を目指して」と、大きく 5 項目、医療、福祉、教育、産業、まちづくりへと基本的な考えを述べられた。 (1) 医療の項目で、保健師や栄養士等が町内 24 地区に出向き、健康相談等を行う「おあしす 24」の事業を実施してきた。 「おあしす 24」は健康増進事業の中で 163 回実施され、延べ人数 2,079 人の参加であるが、各地区より、この事業展開は喜ばれたか、主な地区の検証を伺う。 (2) 産業の項目では、有害鳥獣対策として農家の自衛策に対する支援制度の創設、捕獲器の増設を行ったが、効果はいかがだったか。 (3) まちづくりの項目で、第 4 次総合計画での平成 23 年度の主な事業のうち、まちづくり交付金を利用して、西部地域の道路整備が進められた。3.11 の大震災後、防災に対しての考えからも、この事業は評価できる。耐震診断、改修に対しての補助も多く出た（耐震改修促進予算額 300 万円、決算額 366 万 5,000 円）。 昭和 56 年以前に建築された住宅への耐震診断、改修への啓発は納得のいくものであったか。</p>

<p>2</p> <p>10番 高橋 英俊議員 (40分) 9:45~10:25</p>	<p>以下の事業の予算を執行した結果、どのような改善や反省事項を新年度予算編成に反映させていくのかを伺う。</p> <p>1. 財政力指数等の検証と今後の考え方について 平成 23 年度当初予算で、一般会計では6億 8,000 万円を借り入れ、利子を含む9億 3,153 万円を元利償還するところ、この決算では6億 450 万円を借り入れ、利子を含む9億 2,500 万円を償還され、経常収支比率も93.3%となっている。 毎回、財政力指数が悪化していると言わざるを得ないが、反省と今後の考え方について伺う。</p> <p>2. 予備費対応について 決算審査意見書によると、補正予算での対応が可能であるのに、修繕の対応をしているものがある、との指摘があった。 議会が承認して箇所づけした予算が後回しにされ、緊急修繕に回っているのではないか。 町の所見を伺う。</p> <p>3. 物品管理について 10年ほど前に、物品がらみの不正事件があった。100万円以上の物品は決算書にも記載されているが、それ以下の物品については各課の管理である。厳正なる管理を求めるところだが、どのような考えか。</p>
<p>3</p> <p>9番 鈴木 京子議員 (40分) 10:45~11:25</p>	<p>以下の件について、総括を求める。なお、概要のわかる答弁にされたい。</p> <p>1. 補正予算について ○実施計画進行管理における平成 23 年度事業は、当初予算に全て計上されていたか。補正によるあとづけはなかったか。 ○年度末補正において繰越明許を設定し、全額次年度執行とする手法は問題だったと考えるが、町の認識は。</p> <p>2. 事故繰越について 不測の事態の発生が主な理由とされるが、執行可能の状況にしてからの計上であるべき。最初から執行できないことを承知で計上された事業はなかったか。</p> <p>3. 起債と公債費について 臨時財政対策債の起債限度額と、起債額の割合はどうだったか。また、借金の返済は推計表どおりに行えたか。</p>

	<p>4. 交付税について 当初予算より1億705万円の増だったというが、基準財政需要額に対する割合は。また、臨時財政対策債分は何年度分でどの位と推計するか。</p> <p>5. 執行残について ○総額（補正も含め）と入札による執行残額は。また、落札率の動向と平均は。 ○住民ニーズがあるにもかかわらず、予算がないことを理由に工夫もせず放置したことはなかったか。</p> <p>6. 消費税について 地方消費税交付金が1,000万円以上見込みより減だが、理由は。また、町が払った消費税はどの位だったか。</p> <p>7. 執行体制について 相談・チェック体制が不十分という中での執行だったが、職員間の連携はとれていたか。宙に浮いた連絡ミスはなかったか。</p> <p>8. 国・県との関係について 制度改定による町対応の支出はどの位あったか。</p> <p>9. 入札・契約について ○不調による再入札はあったか。あれば件数と理由を問う。随意契約と入札（電子及び紙ベース）のおよその割合はどうだったか。 ○契約を変更した主な理由は。</p> <p>10. 指定管理者について 町の委託2件、受託1件について、当初の協定どおりに運営されたか。</p> <p>11. 税等の徴収について 徴収率アップだが工夫は。延滞金の利率14.6%は高すぎるが、認識は。生活実態を反映した徴収だったか。守秘義務は守られたか。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3名 17問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。